

第5回奄美市保育人材確保に向けた官民連携円卓会議概要

開催日時:令和6年12月23日(月)14:30~15:40

会場:奄美看護福祉専門学校 食堂

出席委員:別紙のとおり

傍聴者数:20名(保育関係者傍聴1名、奄美看護福祉専門学校19名うち学生17名)

会次第(別添)

1. 提言案について、第4回円卓会議での協議内容、保育関係者パブリックコメント(12/6~12/19実施)を受けた変更点を中心に事務局から説明。

●提言については、原案どおりとすることを全会一致で確認しました。

2. 参加委員から円卓会議に参画した感想や傍聴として参加した奄美看護福祉専門学校の学生に対するのメッセージを発表しました。

- ・数年前からなり手不足、保育人材不足を感じている。働き方も多様化しているので、どう打破していくか。70代の方にも働いていただいている。年齢の幅はあるけれど一体化して取り組んでいきたい。
- ・我が園だけじゃなくて、奄美市や他の認可保育施設に療育施設を含めて、自分たちが抱えている課題をよくしていくためには、みんなで手を取り合って連携していくことが1番の近道だということを、今回すごく学ばせていただきました。
- ・提言にある4年後のワクワクに向けて動き出すことにワクワクしています。学生にはぜひ幼児教育・療育の世界に来てほしい。区別することなく全ての子が幸せになることを思っていて関わっています
- ・療育施設と並行して通園する児童が初めてのときは、最初のうち、子どもの生活リズムの変化や移動の負担など不安に感じることもあった。しかし今では支援が必要な時に保育だけでなく専門家も含めて向き合えることがとても素敵だと実感している。
- ・働き方の専門家として参加させてもらい、外部人材として自分に何ができるのかを考えるよい機会をいただいた。
- ・保育が前進するいい会になった。自分だけで抱えるのではなく、関係するみんなの意見を聞いて進めることが、未来の子どもにとってもいいことにつながる。
- ・保育の未来を考えることはとても大切なこと。官と民とでここまで形に出来たことを嬉しく思う。参画された委員やアンケートに答えてくれた皆さんに感謝しています。ここがスタートですので、提言を活用されて未来に繋げていただきたい。

3. 奄美看護福祉専門学校の学生から円卓会議を傍聴した感想について発表いただきました。

- ・いろんな施設を見学して施設についてもっと知りたい。重労働や低賃金と聞いていますが、それだけではなく個人的には職場の人間関係を重視している。保育自体はやりがいのある仕事だと思う。
- ・実習を通して、配慮が必要な児童が多くて手が回っていない状況を目にした。就職先の検討は給与と人間関係を重視するが、給与がよくても人間関係がよくないと続けられない。また、施設の特徴やその施設のいいところ等について就職活動の時に限らずもっと知ることができたい機会が欲しい。

提言の提出に向けて

- ・年明け1月に奄美市長と保育施設の代表に提言を提出することを確認して、散会しました。